

STEP 4-1 事業報告

事業の一覧

職場環境の整備	
1	コラボヘルスの仕組の有効活用
加入者への意識づけ	
1	被扶養者を対象とした健康情報誌の発行
2	LINEによる被扶養者を対象とした健康情報発信
個別の事業	
1	特定健診（被保険者）
2	特定健診（被扶養者・任意継続被保険者）
3	特定保健指導
4	特定保健指導・生活習慣改善指導
5	生活習慣病重症化予防
6	医療費通知、ジェネリック医薬品の利用促進
7	婦人科検診
8	健康教室・セミナー・健康動画の実施
9	専門医による健康相談窓口サービスの設置
10	健診・レセプトデータの活用
11	スポーツジム法人契約による利用促進
12	「上手な医療のかかり方」に係る動画コンテンツ等を用いて定期的な加入者への啓発活動を行い、セルフメディケーションの周知向上を図る。

【保健事業の基盤】 職場環境の整備

1	事業名	コラボヘルスの仕組の有効活用									
健康課題との関連	2022年度医療費に占める新生物の割合は8.1%であり、年間100万円以上の構成割合も21.2%と高い割合を示している。										
	・2022年度医療費に占める生活習慣病重症化（心疾患、脳血管疾患）の割合は3.8%であり、年間100万円以上の構成割合も8.6%と高い割合を示している。 ・50歳代から心疾患・脳血管疾患の患者数が急増している。										
	・2022年度医療費に占める生活習慣病基礎疾患（高血圧症、糖尿病、脂質異常症）の割合は7.2%であり、年間100万円以上の構成割合も2.8%と高い割合を示している。 ・40歳代から高血圧症・糖尿病・脂質異常症の患者数が増加している。										
分類											
注1)事業分類	計画	1-ア	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	既存		
	実績	1-ア		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業		PFS事業ではない			
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 その他									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 その他									
注2)プロセス分類	計画	ケ	実施方法	計画	・会議体を通じた、事業所医療スタッフや担当者等関係者との情報・意見交換 ・各安全衛生委員会での情報提供・提案			予算額	0千円		
	実績	ケ		実績	・事業所医療スタッフや担当者等関係者と直接面談し情報・意見交換を実施した。 ・各安全衛生委員会での情報提供・提案を行った。						
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	・健康管理委員会活動を軸にしたコラボヘルス展開：各社・大規模拠点ごとの健康づくり推進者の設置、活動内容・頻度の見直し ・コラボヘルスの幅の拡大：「共同実施」から「協力・支援」まで ・各安全衛生委員会との連携強化			決算額	0千円		
	実績	ア		実績	・大規模拠点ごとの社長、幹部、健康推進担当者と面談し健康課題の共有を行い、課題に向けての支援、協力事項を明確にした。						

実施計画 (令和6年度)	・コラボヘルスの幅の拡大：「共同実施」から「協力・支援」まで ・各安全衛生委員会との連携強化	
振り返り	実施状況・時期	【実施状況】 ・健康管理委員会の開催 産業医、産業保健師、事業所健康管理部門の管理職の参加 ・安全衛生委員会への出席 ・主要事業主4社と面談し、情報共有
	成功・推進要因	・主要事業主4社へ健康スコアリングレポート等を利用し各社、全体比較を行い課題共有 ・健康スコアリングレポートを組合会・健康づくり推進者会議でのフィードバック
	課題及び阻害要因	・事業所の健康課題について理解してもらい、より協力し施策実施し、課題解決に繋げる。
	評価	5．100%
事業目標		
・コラボヘルスの仕組を有効活用し、関係者間の意思疎通を図り、議論及びアクションを活性化させる。		
アウトプット指標		
会議体開催数（【令和5年度末の実績値】2回【計画値/実績値】令和6年度：2回/2回　【達成度】100.0%）・健康管理委員会活動：①健康づくり計画の進捗確認・見直し、②健康づくり推進者との連携、③事業所個別の課題・対策の情報交換・検討[-]		
アウトカム指標　会議体での情報発信（【令和5年度末の実績値】7回【計画値/実績値】令和6年度：7回/7回　【達成度】100.0%）・「協力・支援」のコラボヘルスが毎月拡大している。[-]		
外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託していなかった

【保健事業の基盤】 加入者への意識づけ

1	事業名	被扶養者を対象とした健康情報誌の発行							
健康課題との関連		2022年度医療費に占める新生物の割合は8.1%であり、年間100万円以上の構成割合も21.2%と高い割合を示している。							
		・2022年度医療費に占める生活習慣病重症化（心疾患、脳血管疾患）の割合は3.8%であり、年間100万円以上の構成割合も8.6%と高い割合を示している。 ・50歳代から心疾患・脳血管疾患の患者数が急増している。							
		・2022年度医療費に占める生活習慣病基礎疾患（高血圧症、糖尿病、脂質異常症）の割合は7.2%であり、年間100万円以上の構成割合も2.8%と高い割合を示している。 ・40歳代から高血圧症・糖尿病・脂質異常症の患者数が増加している。							
分類									
注1)事業分類	計画	2	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	その他	新規・既存区分	既存
	実績	2		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	ク	実施方法	計画	①主に女性の健康に関するコンテンツを企画 ②情報誌掲載記事は健保作成 ③情報誌の作成・印刷・配布は外部事業者へ委託		予算額	2,000千円	
	実績	エ、ク		実績	①女性・被扶養者向けを意識した企画 ②情報誌掲載記事は健保作成 ③情報誌の作成・印刷・配布は外部事業者へ委託				
注3)ストラクチャー分類	計画	ケ	実施体制	計画	管理栄養士が中心となり機関誌を作成		決算額	- 千円	
	実績	ケ		実績	・管理栄養士が中心となり健康フォト掲載や女性の健康に関するクイズを掲載 ・ホームページ、社内イントラ、LINE等利用し電子版（PDF）閲覧				
実施計画 (令和6年度)		①情報誌の内容を検討（前年度3月中に完了） ②印刷業者に発注（4月） ③情報誌の配布（5月）							

振り返り	実施状況・時期	・実施計画通りのスケジュールで、情報誌の内容と回数を検討し、年1回5月に被保険者の自宅へ郵送した ・手に取ってもらえるような表紙や内容とした ・ホームページ、LINE、社内掲示板に掲載 ・女性の健康に関するクイズ、女性の生活習慣病、HPVワクチン接種を掲載
	成功・推進要因	・健康クイズの回答者を募り、健保組合からの一方的な情報発信とならない工夫をしている ・健康増進に役立つ情報提供を行っている ・手に取ってもらえるような表紙や必要、かつ利用したいお得なスポーツ施設会員利用なども掲載
	課題及び阻害要因	・内容の充実や、視覚的に目につき見やすい形で掲載し、加入者の健康意識向上を図る ・年1回の発行となりタイムリーな情報発信が難しいため掲載内容、体制の検討

評価	5. 100%
----	---------

事業目標

社内メール・イントラネット等で健保からの情報の届かない被扶養者（主に女性）の健康意識を向上させ、健康行動が行われている。

アウトプット指標 年間発行回数（【令和5年度末の実績値】2回【計画値/実績値】令和6年度：2回/1回 【達成度】50.0%）・健保加入者に、電子媒体主体の情報伝達、紙媒体による補完：100%[-]

アウトカム指標 参加型企画への応募数（【令和5年度末の実績値】10件【計画値/実績値】令和6年度：10件/42件 【達成度】420.0%）-[-]

外部委託先	計画	未定
	委託の有無	外部委託した
	実績 外部委託先事業者	株式会社サンライフ企画（健康づくり事業）

2	事業名	LINEによる被扶養者を対象とした健康情報発信
健康課題との関連		・2022年度医療費に占める生活習慣病重症化（心疾患、脳血管疾患）の割合は3.8%であり、年間100万円以上の構成割合も8.6%と高い割合を示している。 ・50歳代から心疾患・脳血管疾患の患者数が急増している。
分類		

注1)事業分類	計画	2,5-ス	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	2,5-ス		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業ではない				PFS事業		PFS事業ではない	
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0 ～ （上限なし） 対象者分類 被扶養者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20 ～ 74 対象者分類 被扶養者							
注2)プロセス分類	計画	エ,キ,ク	実施方法	計画	①LINE公式アカウント開設（委託先：MRI） ②加入者へLINE登録周知 ③LINEにより健康情報を発信			予算額	-千円
	実績	ア,エ,キ,ク		実績	①LINE公式アカウント開設（委託先：MRI） ②加入者へ広報誌、ハガキを送付し登録周知を実施 ③LINEにより健康情報を月2回発信				
注3)ストラクチャー分類	計画	ケ	実施体制	計画	管理栄養士が中心となり機関誌を作成			決算額	-千円
	実績	コ		実績	・委託先（MRI）の配信シートを活用し作成を行った ・MRIより配信				
実施計画 (令和6年度)		①MRI社とLINE公式アカウント利用の年間契約締結（4月） ②被扶養者に対し、LINE登録の周知（適宜） ③健康情報の発信（毎月） ④アンケートによる効果確認（12月）							
振り返り		実施状況・時期 ・MRIと契約締結 ・広報誌、ホームページバナー等で被扶養者への登録を周知。未登録者へハガキ送付（登録者およそ900人） ・ユーザー登録でターゲット配信可能となるため登録者へインセンティブ付与 ・健康情報・健保からのお知らせの発信（月2回） ・アンケートによる効果確認（12月実施） 満足度92% 成功・推進要因 ・月2回の配信のうち、月1回を健保からのお知らせとし、タイムリーな情報提供が可能となった ・ターゲットを絞った配信を活用し、未受診者などへの受診促進を実施した 課題及び阻害要因 ・健保からの情報が届きにくい被扶養者への発信の向上のため登録者の増加が課題となる							
評価		5. 100%							
事業目標									

社内メール・イントラネット等で健保からの情報の届かない被扶養者（主に女性）の健康意識を向上させ、健康行動が行われている。

アウトプット指標 情報発信回数（【令和5年度末の実績値】6回【計画値/実績値】令和6年度：12回/24回 【達成度】200.0%） -[-]

アウトカム指標 アンケート結果（満足度）（【令和5年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】令和6年度：50%/92% 【達成度】184.0%） -[-]

外部委託先	計 画	未定	
	委 託 の 有 無	外部委託した	
	実 績 外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。	

【個別の事業】

1	事業名	特定健診（被保険者）							
健康課題との関連		・2022年度医療費に占める生活習慣病重症化（心疾患、脳血管疾患）の割合は3.8%であり、年間100万円以上の構成割合も8.6%と高い割合を示している。 ・50歳代から心疾患・脳血管疾患の患者数が急増している。							
		・2022年度医療費に占める生活習慣病基礎疾患（高血圧症、糖尿病、脂質異常症）の割合は7.2%であり、年間100万円以上の構成割合も2.8%と高い割合を示している。 ・40歳代から高血圧症・糖尿病・脂質異常症の患者数が増加している。							
分類									
注1)事業分類	計画	3-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	3-ア		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない			
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	イ,ウ,ケ	実施方法	計画	・特定健診結果は、事業主の定期健診時に共同実施 ・受診状況を適宜事業主と確認（必要に応じて未受診者への受診勧奨を事業主経由で依頼）	予算額	0千円		
	実績	イ,ウ,ケ		実績	・特定健診結果は、事業主の定期健診時に共同実施 ・受診状況を適宜事業主と確認（未受診者への受診勧奨を事業主経由で依頼）				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ,カ	実施体制	計画	・受診状況を適宜事業主と確認（必要に応じて未受診者への受診勧奨を事業主経由で依頼） ・検診結果は全て電子データで事業主から取得	決算額	-千円		
	実績	ア,イ,カ		実績	・受診状況を適宜事業主と確認した（未受診者の確認と受診勧奨を事業主経由で依頼） ・健診結果は全て電子データで事業主から取得し、システムで管理している				
実施計画 (令和6年度)		・事業主の定期健診時に共同実施							
		実施状況・時期 特定健診（40歳以上74歳未満） 対象者数 2610人 受診者数 2502人 受診率 95.8%							

胃がん検診（40歳以上74歳未満）

- ・胃X線検査
受診者 876人
受診率 33.5%

- ・胃内視鏡検査
対象人数
受診者 640人
受診率 24.5%

肺がん検査（18歳以上74歳未満）

- 対象者数 3766人
- ・胸部X線検査
受診者 3431人
受診率 91.1%

大腸がん検査（40歳以上74歳未満）

- ・便潜血検査
受診者 2177
受診率 83.4%
- ・大腸内視鏡検査（40歳以上 1回/5年）
受診者 8人
受診率 0.3%

乳がん（18歳以上74歳以下女性）

- 対象者数 856人
- ・マンモグラフィーまたは乳房エコー
受診者 249人 ※一部結果確認不可
受診率 29.0%

子宮頸がん（18歳以上74歳未満女性）

- ・子宮頸部細胞診
受診者 206人 ※一部結果確認不可
受診率 24.0%
- ・HPV検査
受診者 10人 ※一部結果確認不可
受診率 1.1%
- ・HPVワクチン
受診者 9人

成功・推進要因

- ・事業所の定期健診ネットワーク化により健診データの一元化が進んでいる
- ・HPVワクチン費用補助を開始

課題及び阻害要因

- ・未受診者に対する対策の強化

	・がん検診人数・結果の把握	
評価	5．100%	
事業目標		
被保険者が特定健診を確実に受診できていて、健康状態が確認できている。		
アウトプット指標 被保険者受診率（【令和5年度末の実績値】92.3%【計画値/実績値】令和6年度：95%/95.8% 【達成度】100.8%）・現状94.7%[-]		
アウトカム指標 生活習慣病のリスク保有者（【令和5年度末の実績値】596人【計画値/実績値】令和6年度：590人/501人 【達成度】117%）被保険者の健康状態が確認できている。[-]		
外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託していなかった

2	事業名	特定健診（被扶養者・任意継続被保険者）								
健康課題との関連		・2022年度医療費に占める生活習慣病重症化（心疾患、脳血管疾患）の割合は3.8%であり、年間100万円以上の構成割合も8.6%と高い割合を示している。 ・50歳代から心疾患・脳血管疾患の患者数が急増している。								
		・2022年度医療費に占める生活習慣病基礎疾患（高血圧症、糖尿病、脂質異常症）の割合は7.2%であり、年間100万円以上の構成割合も2.8%と高い割合を示している。 ・40歳代から高血圧症・糖尿病・脂質異常症の患者数が増加している。								
分類										
注1)事業分類		計画	3-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)
		実績	3-ア		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業である				PFS事業		PFS事業ではない		
事業の内容										
対象者		計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20 ～ 74 対象者分類 被扶養者							
		実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20 ～ 74 対象者分類 被扶養者							

注2)プロセス分類	計画	ウ,エ,カ,ス	実施方法	計画	・被保険者と連携した被扶養者に対する受診勧奨 ・LINE、メールによる受診勧奨	予算額	-千円
	実績	ウ,エ,カ,ス		実績	・被保険者と連携した被扶養者に対する受診勧奨 ・LINE、メール、ホームページ、ハガキによる受診勧奨		
注3)ストラクチャー分類	計画	エ,キ,シ	実施体制	計画	・けんぽ共同健診協議会での共同実施	決算額	5,621 千円
	実績	エ,キ,シ		実績	・けんぽ共同健診協議会での共同実施		
実施計画 (令和6年度)		①けんぽ共同健診の実施 ②被保険者経由による受診勧奨 ③栗田健保以外の健診受診状況の把握					
振り返り		実施状況・時期 被扶養者特定健診（４０歳以上７４歳未満） 対象者数　１１９４人 受診者数　７４１人 受診率　　６２．０６％ 【受診者数】 胃がん検査 ・胃Ｘ線検査　９９人 ・胃内視鏡検査　１２０人 大腸がん検査（４０歳以上７４歳未満） ・便潜血検査　６４７人 ・大腸内視鏡検査（１回／５年）５人 乳がん（２０歳以上７４歳以下） ・マンモグラフィー　２９０人 ・乳房エコー　３７３人 子宮頸がん（２０歳以上７４歳未満） ・子宮頸部細胞診　４５５人 ・ＨＰＶ検査　１人 成功・推進要因 ・特定健診はけんぽ共同健診協議会で共同実施 ・LINE、メール、社内イントラ、ハガキ送付等での受診勧奨 ・被保険者経由で受診勧奨（メール） 課題及び阻害要因 ・受診勧奨しにくい被扶養者への受診率向上対策					
評価		５．１００％					
事業目標							

受診率目標60%（けんぽ共同健診50%、他10%）		
アウトプット指標 被扶養者受診率（【令和5年度末の実績値】39.1%【計画値/実績値】令和6年度：60%/62% 【達成度】103.3%）健保の仕組で受診者＋他での受診結果提出者：現状50%[-]		
アウトカム指標 生活習慣病のリスク保有者（【令和5年度末の実績値】596人【計画値/実績値】令和6年度：590人/501人 【達成度】117%）-[-]		
外部委託先	計画	株式会社イーウェル（特定健診）
	委託の有無	外部委託した
	実績 外部委託先事業者	株式会社イーウェル（特定健診）

3 事業名		特定保健指導							
健康課題との関連		・2022年度医療費に占める生活習慣病基礎疾患（高血圧症、糖尿病、脂質異常症）の割合は7.2%であり、年間100万円以上の構成割合も2.8%と高い割合を示している。 ・40歳代から高血圧症・糖尿病・脂質異常症の患者数が増加している。							
分類									
注1)事業分類	計画	4-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	4-ア		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	エ, キ, ケ, サ	実施方法	計画	・特定保健指導は全てオンラインで実施 ・就業時間中でも受講可能			予算額	-千円
	実績	エ, キ, ケ, サ		実績	・特定保健指導は全てオンラインで実施 ・就業時間中でも受講可能				

注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ,ウ	実施体制	計画	・全事業主参加の「健康づくり推進者体制」を構築し、定期会議開催、事業主と連携した特定保健指導を実施 ・実施率が低い事業主（代表者）と課題共有を行い、実施率向上を要請	決算額	- 千円
	実績	ア,イ,ウ		実績	・全事業主参加の「健康づくり推進者体制」を構築し、定期会議開催、事業主と連携した特定保健指導を実施 ・実施率が低い事業主（代表者）と課題共有を行い、実施率向上を要請した		
実施計画 (令和6年度)	①「クリタ健康改善プログラム」の7年目レビュー ②同プログラムの拡大の検討・トライアル実施						
振り返り	実施状況・時期		基本的にはスマホによるICT活用により実施 『動機付け支援』 実施者数 127人 実施率 52.2% 『積極的支援』 実施者数 120人 実施率 49.8%				
	成功・推進要因		・事業所の配慮により、終業時間内に指導実施が可能 ・健康づくり推進者と連携し、参加勧奨を実施 ・委託業者を3社用意し、対象者が選んで自ら申込む ・対象者の意欲に応じた実施 ・対象者がみやすくわかりやすい案内通知を送付				
	課題及び阻害要因		・保健指導終了後のフォロー ・リピーターへの効果的な対応 ・数年不参加な者への対応				
評価	5. 100%						
事業目標							
2023年度596名⇒2029年度までに25%（＝149名）以上減少させる							
アウトプット指標 特定保健指導実施率（【令和5年度末の実績値】48.5%【計画値/実績値】令和6年度：55%/52.2% 【達成度】94.9%）現状48.5%[-]							
アウトカム指標							
特定保健指導対象者（【令和5年度末の実績値】596人【計画値/実績値】令和6年度：590人/501人 【達成度】117%）2023年度596名⇒2029年度までに25%（＝149名）以上減少させる[-]							
	計画	登録されていないサービスを利用する					

外部委託先	委託の有無	外部委託した
	実績 外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

4 事業名		特定保健指導・生活習慣改善指導							
健康課題との関連		2022年度医療費に占める新生物の割合は8.1%であり、年間100万円以上の構成割合も21.2%と高い割合を示している。							
		・ 2022年度医療費に占める生活習慣病重症化（心疾患、脳血管疾患）の割合は3.8%であり、年間100万円以上の構成割合も8.6%と高い割合を示している。 ・ 50歳代から心疾患・脳血管疾患の患者数が急増している。							
		・ 2022年度医療費に占める生活習慣病基礎疾患（高血圧症、糖尿病、脂質異常症）の割合は7.2%であり、年間100万円以上の構成割合も2.8%と高い割合を示している。 ・ 40歳代から高血圧症・糖尿病・脂質異常症の患者数が増加している。							
分類									
注1)事業分類	計画	4-ア, 4-カ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存
	実績	4-ア, 4-カ		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18 ～ 74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18 ～ 74 対象者分類 被保険者							

注2)プロセス分類	計画	イ	実施方法	計画	・医療スタッフのいない事業所の「要治療者」を対象に、外部委託の保健師が面談等により生活習慣改善指導および治療勧奨を実施。	予算額	-千円
	実績	イ		実績	・医療スタッフのいない事業所の「要治療者」を対象に、外部委託の保健師が面談等により生活習慣改善指導および治療勧奨を実施。		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	・「クリタ健康改善プログラム」（疾病予防コース）	決算額	-千円
	実績	ア		実績	・「クリタ健康改善プログラム」（疾病予防コース）		
実施計画 (令和6年度)	①「クリタ健康改善プログラム」の7年目レビュー ②同プログラムの拡大の検討・トライアル実施						
振り返り	実施状況・時期 〈疾病予防コース〉 実施者数 21人 実施率 96.6% 〈若年層メタボコース〉 実施者数 88人 実施率 42% 成功・推進要因 ・医療機関を受診するよう通知（希望者には特定保健指導を実施）し、対象者本人が実施報告書を健保に提出して完了する仕組みを整えた ・若年層メタボ対策は初回面談をせず、チャットで支援が完了するライトな支援を取り入れた 課題及び阻害要因 ・未受診者の低減 ・若年者の参加率向上						
評価	5．100%						
事業目標							
・医療スタッフのいない事業所の「要治療者」の健康状態を悪化させない。							
アウトプット指標							
「クリタ健康改善プログラム」（疾病予防コース）受診率（【令和5年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和6年度：50%/96.6% 【達成度】193.2%）・「クリタ健康改善プログラム」（疾病予防コース）を対象者に受診してもらう。[-]							
アウトカム指標 医療スタッフ不在事業所要医療者数（【令和5年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和6年度：16人/16人 【達成度】100%）-[-]							
外部委託先	計画	外部委託しない					
	実績	委託の有無	外部委託していなかった				

健康課題との関連			・2022年度医療費に占める生活習慣病重症化（心疾患、脳血管疾患）の割合は3.8%であり、年間100万円以上の構成割合も8.6%と高い割合を示している。 ・50歳代から心疾患・脳血管疾患の患者数が急増している。							
分類										
注1)事業分類		計画	4-キ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	4-キ	実績		1．健保組合					
共同事業		共同事業ではない				PFS事業		PFS事業ではない		
事業の内容										
対象者		計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20～74 対象者分類 被保険者							
		実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類		計画	イ	実施方法	計画	・受診勧奨より保健師面談・フォローに重きを移し、「クリタ健康改善プログラム」の「重症化予防コース」として実施。			予算額	-千円
		実績	イ		実績	・受診勧奨より保健師面談・フォローに重きを移し、「クリタ健康改善プログラム」の「重症化予防コース」として実施。 ・共同事業で糖尿病性腎症重症化予防として尿検査キットによるアルブミン検査を実施				
注3)ストラクチャー分類		計画	ア、イ	実施体制	計画	・「クリタ健康改善プログラム」（重症化予防コース） ・健診結果から組合員の生活習慣病についてのリスク分布について分析し、血糖値が高い方には尿中アルブミン検査を受診してもらい、希望者に限定して保健指導プログラムを二か月間受けてもらう。			決算額	-千円
		実績	ア、イ		実績	・「クリタ健康改善プログラム」（重症化予防コース） ・健診結果から組合員の生活習慣病についてのリスク分布について分析し、血糖値が高い方には尿中アルブミン検査を受診してもらい、希望者に限定して保健指導プログラムを二か月間受けてもらう。				
実施計画 (令和6年度)		①「クリタ健康改善プログラム」の7年目レビュー ②同プログラムの拡大の検討・トライアル実施								

振り返り	実施状況・時期		- 栗田健康改善プログラム「重症化予防コース」 実施者 2 人 実施率50% - 糖尿病性腎症重症化予防 リスクが高いものへ(株)サンプリのMYPACEの プログラムを実施 対象者 477人 実施者 271人 プログラムへの参加者 11人
	成功・推進要因		- 主治医への相談実施状況を確認し、確実に医療に繋げた - 糖尿病性腎症重症化予防対策は簡単に検査できる尿検査キットを送付し、重症化リスクが高い方へ2カ月保健指導プログラムを実施 - 事業所への内容と対象者について連携した
	課題及び阻害要因		- 事業所の協力を得て確実に主治医への相談に繋げる必要がある - 尿検査キット送付者実施率向上
	評価		5 . 100%

事業目標		
糖尿病患者等に適切な治療を受診させることにより、重症化及び合併症を予防することにより重症化させない。		
アウトプット指標		
重症化予防コース受診率（【令和5年度末の実績値】10%【計画値/実績値】令和6年度：10%/50% 【達成度】500.0%）・事業所の医療スタッフ、事業所健康管理責任者との連携により、保健師面談・フォローが確実にできている。[-]		
アウトカム指標		
生活習慣病重症化数（【令和5年度末の実績値】0人【計画値/実績値】令和6年度：0人/0人 【達成度】100%）・実施者のうち、重症化した者：ゼロ[-]		

外部委託先	計画	外部委託しない
	委託の有無	外部委託した
	実績	外部委託先事業者 株式会社サンプリ（重症化予防）

6	事業名	医療費通知、ジェネリック医薬品の利用促進									
健康課題との関連		該当なし									
分類											
注1)事業分類	計画	7-ア, 7-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存		
	実績	7-ア, 7-イ		実績	1. 健保組合						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業		PFS事業ではない			
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 基準該当者									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 基準該当者									
注2)プロセス分類	計画	キ	実施方法	計画	・ジェネリック医薬品に切り替えた場合に、薬代の自己負担額が一定額以上削減される被保険者及び被扶養者を対象に、差額通知を実施する。			予算額	-千円		
	実績	キ		実績	・ジェネリック医薬品に切り替えた場合に、薬代の自己負担額が一定額以上削減される被保険者及び被扶養者を対象に、差額通知を実施した。						
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	・Web上で医療費通知、ジェネリック医薬品の差額通知の差額通知が閲覧できるシステム等の利用。			決算額	-千円		
	実績	シ		実績	・Web上で医療費通知、ジェネリック医薬品の差額通知の差額通知が閲覧できるシステム等を利用している						
実施計画 (令和6年度)		①ジェネリック医薬品に関する対象疾病・削減可能額により通知対象者を選定し通知実施、②セルフメディケーション税制の広報媒体での周知									
振り返り		実施状況・時期		・毎月抽出し対象者に配布（70～80名/月） ・Webで医療費通知と併せてジェネリック医薬品差額通知の閲覧が可能 ・ポリファーマシー対策としてポリファーマシー通知を送付（108名）							
		成功・推進要因		・ジェネリックに変更しない場合の負担について等も併せて通知 ・医療費控除の電子申告（e-tax）データのダウンロードがWeb上で行える							
		課題及び阻害要因		・システムの周知と利用者への啓蒙							
評価		5. 100%									
事業目標											

ジェネリック医薬品の数量ベースの切替率80%

アウトプット指標

医療費適正化の情報発信件数（【令和5年度末の実績値】7件【計画値/実績値】令和6年度：7件/7件 【達成度】100.0%）・ホームページ、広報誌などの広報媒体で医療費適正化の情報発信：毎月1件以上[-]

アウトカム指標

ジェネリック医薬品切替率（【令和5年度末の実績値】80%【計画値/実績値】令和6年度：80%/84.2% 【達成度】105.3%）現状：80%[-]

外部委託先	計画	株式会社 法研（健康づくり事業）	
	委託の有無	外部委託した	
	実績	株式会社 法研（健康づくり事業）	

7	事業名	婦人科検診									
健康課題との関連		2022年度医療費に占める新生物の割合は8.1%であり、年間100万円以上の構成割合も21.2%と高い割合を示している。									
分類											
注1)事業分類	計画	3-工	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存		
	実績	3-工		実績	1. 健保組合						
共同事業		共同事業である				PFS事業	PFS事業ではない				
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 20 ～ 74 対象者分類 被保険者,被扶養者,任意継続者									
	実績	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 20 ～ 74 対象者分類 被保険者,被扶養者,任意継続者									

注2)プロセス分類	計画	イ, ウ, エ, ク, ケ, シ	実施方法	計画	①子宮がん検診：頸部細胞診検査、HPV検査 ②乳がん検査：乳房超音波検査（エコー）、マンモグラフィ検査のどちらか ※39歳以下は乳房超音波検査（エコー）を推奨	予算額	-千円
	実績	イ, ウ, エ, ク, ケ, シ		実績	①子宮がん検診：頸部細胞診検査、HPV検査 ②乳がん検査：乳房超音波検査（エコー）、マンモグラフィ検査のどちらか ※39歳以下は乳房超音波検査（エコー）を推奨		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア, イ	実施体制	計画	①被保険者は一部定期健診同時受診 ②被扶養者は共同検診で受診 ③①②以外に任意検診機関で受診（補助金支給）	決算額	-千円
	実績	ア, イ		実績	①被保険者は一部定期健診同時受診 ②被扶養者は共同検診で受診 ③①②以外に任意検診機関で受診（補助金支給）		
実施計画 (令和6年度)	①婦人科検診項目、対象者、検診方法、補助金支給額等を検討・決定する。（前年度3月中） ②上記決定内容を各事業所に通知する。（4月） ③婦人科検診対象者に対し、受診勧奨通知を発送する。（受診勧奨通知の作成・発送は外部委託）（4月） ④健保ホームページに受診勧奨の記事を掲載する。（4月）						

振り返り

実施状況・時期

【被保険者】

乳がん（18歳以上74歳以下女性）

対象者数 856人

・マンモグラフィーまたは乳房エコー

受診者 249人 ※一部結果確認不可

受診率 29.0%

子宮頸がん（18歳以上74歳未満女性）

・子宮頸部細胞診

受診者 206人 ※一部結果確認不可

受診率 24.0%

・HPV検査

受診者 10人 ※一部結果確認不可

受診率 1.1%

・HPVワクチン

受診者 9人

【被扶養者】

対象者数 1378人

乳がん（20歳以上74歳以下）計663人

・マンモグラフィー 290人

・乳房エコー 373人

乳がん計663人

受診率48.1%

子宮頸がん（20歳以上74歳未満）

・子宮頸部細胞診 455人

・HPV検査 1人

受診率33.0%

成功・推進要因

- ・定期健診での同時受診推奨
- ・被保険者にメールやホームページで受診案内
- ・HPVワクチン接種キャッチアップ接種対象者へメール案内
- ・HPVワクチン予防接種補助金を開始

課題及び阻害要因

- ・検診の重要性の周知
- ・精度管理
- ・被保険者で一部結果確認ができないため、受診者の把握

評価

5. 100%

事業目標

婦人科検診の受診率向上により、子宮がん・乳がんの早期発見・早期治療を行う。

アウトプット指標 婦人科検診受診率（【令和5年度末の実績値】43%【計画値/実績値】令和6年度：70%/48.1% 【達成度】68.7%）現状：34%[-]

アウトカム指標

婦人科検診未受診者数（【令和5年度末の実績値】412人【計画値/実績値】令和6年度：240人/400人 【達成度】166.7%）・いずれの検診機関でも受診していない者の人数：継続して減少している。[-]

外部委託先	計画	登録されていないサービスを利用する
	委託の有無	外部委託した
	実績	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

8	事業名	健康教室・セミナー・健康動画の実施							
健康課題との関連	2022年度医療費に占める新生物の割合は8.1%であり、年間100万円以上の構成割合も21.2%と高い割合を示している。								
	・2022年度医療費に占める生活習慣病重症化（心疾患、脳血管疾患）の割合は3.8%であり、年間100万円以上の構成割合も8.6%と高い割合を示している。								
	・50歳代から心疾患・脳血管疾患の患者数が急増している。								
	・2022年度医療費に占める生活習慣病基礎疾患（高血圧症、糖尿病、脂質異常症）の割合は7.2%であり、年間100万円以上の構成割合も2.8%と高い割合を示している。								
・40歳代から高血圧症・糖尿病・脂質異常症の患者数が増加している。									
分類									
注1)事業分類	計画	5-ア, 5-力, 5-ク	実施主体	計画	3．健保組合と事業主との共同事業	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存

	実績	5-ア, 5-カ, 5-ク		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない			
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者,被扶養者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者,被扶養者							
注2)プロセス分類	計画	ケ	実施方法	計画	①健康教室は外部委託し、オンラインで開催する ②健康教室メニューは、事業所との打ち合わせの結果を反映させて決定する。 ③受講者アンケートをもとに効果確認（振り返り）実施			予算額	-千円
	実績	ケ		実績	①健康教室は外部委託し、オンラインで開催する ②健康教室メニューは、事業所との打ち合わせの結果を反映させて決定した ③受講者アンケートをもとに効果確認（振り返り）実施				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	①健康教室は事業所の健康づくり推進者が事業所の健康課題に基づきメニューを選び、開催する。 ②健康動画は健保がイントラネット掲示板に掲示			決算額	-千円
	実績	ア		実績	①健康教室は事業所の健康づくり推進者が事業所の健康課題に基づきメニューを選び、開催する。 ②健康動画は健保がイントラネット掲示板に掲示				
実施計画 (令和6年度)	①前年の健康診断結果から、各事業所の健康課題を健保が抽出する。（4月） ②抽出した課題について、健保と事業所社長、医療スタッフと会議を行い、健康課題を共有するとともに、課題のブラッシュアップを行う。（4月） ③ブラッシュアップした健康課題に基づき、健保が健康教室等のメニュー・計画を策定する。（6月） 特に、女性の更年期による健康問題が最近顕著となっており、 これら解消に向けたメニューを取り入れる。（ホルモン・運動・睡眠等） ④各事業所の健康づくり推進者に健康教室のメニューを連絡する。（7月） ⑤各事業所の健康づくり推進者がメニューを決定し、健康づくり推進者が主体となって健康教室を開催する。（8月～3月） ⑥健康動画は健保が定期的にイントラネット掲示板に掲示する。（随時）								

振り返り	実施状況・時期		・前年度の健診結果とスコアリングレポートにより各事業所の課題を抽出し、事業所と会議を行い新たなメニューを追加し、決定し、健康づくり推進者が主体となり健康教室・セミナーを開催した。 ・8社で実施（ルネサンス・LAVA・野村不動産ライフ＆スポーツ・グリーンハウス・ウェルミラ・ティップネス・ニューロスペース・ウェルネスドア） ・ホルモン、睡眠、運動等のメニューを追加 ・参加者アンケート実施 参加人数（動画視聴含む）1283人 回答数 1064人 回答率 82.9%
	成功・推進要因		・新規メニューを追加しより課題に基づいた健康教室・セミナー等を実現 ・アンケート結果より効果検証実施 健康意識が以前より高まった者が73.7% 参加してよかった者が85.2%
	課題及び阻害要因		・拠点の年齢層、性別、職種などに配慮したテーマ設定の増加 ・在宅勤務や被扶養者にも対応できるオンライン受講の充実
	評価		5．100%
事業目標			
女性の活躍がクリタグループの経営課題となっている。女性の健康改善を中心とした健康教室メニューとし、女性が働きやすい・活躍することができる職場環境を作る			
アウトプット指標 参加者割合（【令和5年度末の実績値】28%【計画値/実績値】令和6年度：70%/26.1% 【達成度】37.3%）現状30% [-]			
アウトカム指標 ポピュレーションアプローチの施策のため、効果測定が難しい（健康スコアリングレポートで測定可能だが、作成が遅いため、効果測定として利用できない） (アウトカムは設定されていません)			
外部委託先	計画	登録されていないサービスを利用する	
	実績	委託の有無	外部委託した
		外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

9	事業名	専門医による健康相談窓口サービスの設置									
健康課題との関連		該当なし									
分類											
注1)事業分類	計画	6	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	新規		
	実績	6		実績	1. 健保組合						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない				
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員									
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	・ 外部委託先による相談窓口の設置			予算額	2,000千円		
	実績	ス		実績	・ 外部委託先による相談窓口の設置						
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	・ 24時間電話相談、メンタルヘルスカounseling、専門医電話相談サービス、セカンドオピニオン手配サービス、 受診手配サービス			決算額	2,029 千円		
	実績	シ		実績	・ 24時間電話相談、メンタルヘルスカounseling、専門医電話相談サービス、セカンドオピニオン手配サービス、 受診手配サービス						
実施計画 (令和6年度)		①相談窓口運営会社と委託契約締結（4月） ②相談窓口開設（4月） ③健保ホームページに相談窓口バナーを開設（4月） ④情報誌、イントラネット等による加入者への周知（4月） ⑤加入者にはがきで周知（10月）									

振り返り	実施状況・時期	電話相談件数 349件 ・電話相談 121件 ・メンタルヘルス電話カウンセリング22件 ・メンタルヘルス面談6名10件 ・チャットボット健康相談タップ数176件 ・セカンドオピニオン 16件 ・二次健診 3件 ・がんと仕事の両立 1件
	成功・推進要因	下記の周知により初年度より利用率が高い ・毎月掲示板にパターンを替え掲載 ・広報物（LINE、広報誌、掲示場）での周知 ・自宅宛てに圧着ハガキを送付
	課題及び阻害要因	・初年度に続き、必要な方がいつでも利用できるよう周知を強化する

評価	5 . 100%
----	----------

事業目標

・子育てで悩む加入者に、専門医にいつでも健康相談できるサービスを提供することで、子育てを支援する。

アウトプット指標	相談窓口利用件数（【令和5年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和6年度：100件/349件 【達成度】349.0%）-[-]
----------	---

アウトカム指標	-
---------	---

外部委託先	計画	未定
	委託の有無	外部委託した
	実績 外部委託先事業者	ティーベック株式会社（健康づくり事業）、ティーベック株式会社（健康づくり事業）、ティーベック株式会社（健康づくり事業）、ティーベック株式会社（健康づくり事業）

10	事業名	健診・レセプトデータの活用
----	-----	---------------

健康課題との関連	該当なし
----------	------

分類

注1)事業分類	計画	8-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	8-イ		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業ではない			PFS事業		PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	キ	実施方法	計画	・健康教室や広報に活用する。			予算額	0千円
	実績	キ		実績	・健康教室や広報、事業所への課題共有に活用した				
注3)ストラクチャー分類	計画	サ	実施体制	計画	-			決算額	-千円
	実績	サ		実績	・健診結果分析とレセプトの活用により				
実施計画 (令和6年度)	①事業主に社員の健康状態を示し、コラボヘルスを活性化させる。②保健事業の効果的・効率的な推進に活用する。								
振り返り	実施状況・時期 ・健康管理委員会で定量的な事業報告を実施 ・事業主との面談に健診結果を活用し分析し状況と課題の共有 ・二次検診受診対象者の受診状況の確認 ・特定保健指導により健診結果の変化からの効果の確認 ・セルフメディケーション対策としてレセプトより対象疾患での受診者を抽出・分析し、スイッチOTC対象者へクーポンを送付 ・セルフメディケーション対策としてレセプトより多剤、有害事象発生リスクのある方へポリファーマシー通知を送付。レセプトにより効果検証 成功・推進要因 ・事業主への健康状態や、結果分析をし課題共有ができた ・レセプトを活用し、セルフメディケーション対象者への対策を行ったこと 課題及び阻害要因 ・より効果的・効率的な保健事業を展開する ・広報に活用しヘルスリテラシーを向上させる								
評価	5. 100%								
事業目標									

健康教室や広報に活用することにより、ヘルスリテラシーの向上に繋げている。

アウトプット指標 会議体での健診・レセプトデータの活用回数（【令和5年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和6年度：-回/6回 【達成度】 100%）・情報提供や報告書に利用できている。[-]

アウトカム指標 コラボヘルス実施回数（【令和5年度末の実績値】 55回【計画値/実績値】 令和6年度：-回/55回 【達成度】 100%）・事業主と健保のコラボヘルスが活性化している。[-]

外部委託先	計画	登録されていないサービスを利用する	
	実績	委託の有無	外部委託した
		外部委託先事業者	株式会社JMDC（後発医薬品事業）

11	事業名	スポーツジム法人契約による利用促進										
健康課題との関連		・2022年度医療費に占める生活習慣病基礎疾患（高血圧症、糖尿病、脂質異常症）の割合は7.2%であり、年間100万円以上の構成割合も2.8%と高い割合を示している。 ・40歳代から高血圧症・糖尿病・脂質異常症の患者数が増加している。										
分類												
注1)事業分類		計画	5-ウ	実施主体		計画	1. 健保組合	予算科目		疾病予防	新規・既存区分	既存
		実績	5-ウ			実績	1. 健保組合					
共同事業		共同事業ではない				PFS事業		PFS事業ではない				
事業の内容												
対象者		計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員									
		実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員									
注2)プロセス分類		計画	ス	実施方法		計画	①女性・若年層に人気のあるスポーツジムの調査・検討（毎年見直し） ②法人契約の締結 ③利用の周知			予算額	5,000千円	
		実績	ス			実績	①女性・若年層に人気のあるスポーツジムの調査・検討（毎年見直し） ②法人契約の締結（5社契約） ③掲示板、広報誌、LINE、ホームページ掲載による周知					
注3)ストラクチャー分類		計画	シ	実施体制		計画	スポーツジム運営会社との法人契約締結			決算額	- 千円	

	実績	シ		実績	スポーツジム運営会社との法人契約締結		
実施計画 (令和6年度)	①現在、女性や若年層に人気あるスポーツジムの選定・法人契約交渉（前年度1～3月） ②法人契約の締結（4月） ③健保ホームページに入会方法等を記載（4月） ④情報誌、イントラネット等による加入者への周知（4月）						
振り返り	実施状況・時期		スポーツジム5社の契約 実施状況 ※24年度最終登録者数 315人 （内訳） ・RIZAP（ちょこザップ） 利用者数 本人 103人 家族 13人 ・LAVA 利用者数 本人 20人 家族 4人 ・ルネサンス 利用者数 本人 110人 家族 27人 ※都度会員含む ・セントラル 利用者数 本人 25人 家族 4人 ・メガロス 利用者数 本人3人 家族1人				
	成功・推進要因		・利用しやすく、女性や若年層に人気のあるスポーツジムの契約を拡大 ・運動習慣者の増加				
	課題及び阻害要因		・人気で身近なジムだが情報が行き届いていない。周知を強化する ・運動習慣改善のため登録者数向上				
評価	5. 100%						
事業目標							
女性や若年層に人気のある、ホットヨガやチョコザップ等のスポーツジム法人契約拡大により女性・若年層の利用しやすい環境を整備し、運動習慣を改善する。							
アウトプット指標		利用人数（【令和5年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和6年度：500人/315人 【達成度】63.0%）-[-]					
アウトカム指標		女性の健康スコアリングレポートの運動習慣（【令和5年度末の実績値】30.3%【計画値/実績値】令和6年度：31%/31.6% 【達成度】101.9%）-[-]					
	計画	未定					

外部委託先	実績	委託の有無	外部委託した
		外部委託先事業者	株式会社ルネサンス（健康づくり事業）

12	事業名	「上手な医療のかかり方」に係る動画コンテンツ等を用いて定期的な加入者への啓発活動を行い、セルフメディケーションの周知向上を図る。
----	-----	--

健康課題との関連	・2022年度医療費に占める生活習慣病基礎疾患（高血圧症、糖尿病、脂質異常症）の割合は7.2%であり、年間100万円以上の構成割合も2.8%と高い割合を示している。 ・40歳代から高血圧症・糖尿病・脂質異常症の患者数が増加している。
----------	---

分類

注1)事業分類	計画	5-キ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規
	実績	5-キ		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				

共同事業	共同事業ではない	PFS事業	PFS事業ではない
------	----------	-------	-----------

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 20 ～ （上限なし）	対象者分類 加入者全員
	実績	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 20 ～ （上限なし）	対象者分類 加入者全員

注2)プロセス分類	計画	エ, キ, ク, ケ	実施方法	計画	-	予算額	2,000千円
	実績	エ, キ, ク, ケ		実績	・スイッチOTC医薬品を含んだOTC医薬品のECサイトの提供 ・OTC医薬品切り替え可能な疾患（花粉症・皮膚疾患・感冒薬）への薬購入補助 ・効果検証		

注3)ストラクチャー分類	計画	ア,ウ	実施体制	計画	・本事業に関する加入者への周知は事業主に協力を要請して、社内の各種媒体を利用して実施する。 ・普及啓発活動は委託先が提供するコンテンツを利用する。 ・OTC医薬品ECサイトは委託先が運営しているものを紹介する。 ・事業の実施方式：委託	決算額	2,029 千円
	実績	ア,ウ		実績	・委託先が提供するコンテンツを毎月社内イントラ（掲示板）で配信 ・OTC医薬品ECサイトは委託先が運営しているものを紹介 ・事業の実施方式：委託		
実施計画 (令和6年度)	・「上手な医療のかかり方」に係る動画コンテンツ等を用いて定期的な加入者への啓発活動を行い、セルフメディケーションの周知向上を図る。 ・上手な医療のかかり方の実践の場としてのOTC医薬品ECサイトを提供する。（常時利用可能） ・上記OTC医薬品ECサイトでは、女性疾患やこどもに対応するOTC医薬品の選び方をサポートする機能や特集記事にて、適切な医薬品の使用を普及啓発する。（常時利用可能）						
振り返り	実施状況・時期		OTC医薬品ECサイトの利用　１２月より開始 ・ECサイト登録　１７１人 ・社内イントラ掲示板に毎月コンテンツを配信 ・花粉症、皮膚疾患、肩こり腰痛のレセプトより対象者へ購入時のクーポン送付 ・花粉症対策動画を配信し、セルフメディケーションを促進 ・LINEで薬剤師に無料で相談ができる				
	成功・推進要因		・毎月、早めに季節に合わせたコンテンツをいただくことによりタイムリーな配信を実施 ・皮膚、花粉症、感冒対象薬の補助を実施				
	課題及び阻害要因		・セルフメディケーションの理解と、利用促進				
評価	５．100%						
事業目標							
セルフメディケーション事業を通した上手な医療のかかり方の普及啓発、及び医療費の適正化							
アウトプット指標		利用人数（【令和5年度末の実績値】－【計画値/実績値】 令和6年度：100人/171人　【達成度】171.0%）-[-]					
アウトカム指標		削減金額（【令和5年度末の実績値】－【計画値/実績値】 令和6年度：1,500,000円/1,500,000円　【達成度】100.0%）-[見込み]					
外部委託先	計画	ホワイトヘルスケア株式会社（その他の業務支援）					
	委託の有無	外部委託した					
	実績						

	績	外部委託先事業者	ホワイトヘルスケア株式会社（その他の業務支援）
--	---	----------	-------------------------

- 注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
- 注2) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. I C Tの活用 オ. 専門職による健診結果の説明
カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備）
コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他
- 注3) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築
キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築 ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置）
シ. その他